

# 山岳会 クラブ探訪

## たらっぺ山の会

(TARAPPE YAMANOKAI)

### クラブの活動

会の活動として技術の維持、獲得を目的に春、夏、冬と年三回の合宿を実施、その他テーマを決めて年数回の山行を実施。個人山行としてはクライミング、縦走、冬山、海外、ハイキングと活動の幅は広く特に最近の傾向として、各自のスタイルで山を自由に楽しむと言う考えが定着してきた。これも新しい流れと肯定的に捕らえる反面、全体的に評価の出来る本格的な登攀が少なくなっており、今後、いかに経験と技術を継承して行くかが課題である。その他、親睦を目的としたキャンプ大会、パーティー（飲んで食べる会）等も開催しており、これらの企画には山関係以外の参加者も多く、毎回多めに盛り上がっている。

### メンバー

会員の多くは県北部に居住している20歳台から40歳台の男性で、女性は1名のみと少な（華やかさには全く関係の無い男所帯である。一時は、海外志向が強く、長期の海外遠征では休暇取得が難しく職を捨てるか、定職に就かず遠征に参加する会員も居た。

### ブーム

最近の傾向として、冬の計画の多くが山ボード、山スキーを目的とした山行となっており、シーズン中は誰

かが毎週どこかの山を滑っている。特に谷川岳周辺は計画も多く、滑降ルートはほぼ滑られている。また、春の恒例として会主催のボードスキー山行も実施されており、残雪期の雄大な山を満喫している。

### 遭難対策

下降点がわからず、時間切れで不安の中やむなくピバーク。頭をよぎる[遭難・・・]の文字。こんな経験のある人は意外に多いのではないだろうか？当会ではこのような危険回避の為、提出された登山計画書に基づき事前チェックが行われ、問題のある計画に対しては、計画の変更または中止の指示がなされる。また、万一の事態に備え日頃からの訓練、遭難対策費の積立、事故発生に対してはセルフレスキューを基本に、すみやかに救助隊を立ち上げ、総力をあげて事態の解決にあたる事となっている。

### 海外

会としての海外遠征と個人の山行の記録

(1981年)カナダグーコン

ロータス フラワータワー

(1983年)インド

バギラティ 峰

(1985年)ネパール

ネパールトレッキング

(1986年)マレーシア

ボルネオ Mt キナバル

(1992年)ロシア

パミール三山 コルジェネフスカ峰、  
コムニズム峰、レーニン峰

(1994年)中国

天山 ボベータ峰、ハンテングリ峰

(1995年)北アメリカ

マッキンリー峰

(1995年)ネパール

ラタン谷周辺

(1996年)タジキスタン

ファン山郡無名峰

(1997年)タジキスタン

フンザ周辺トレッキング

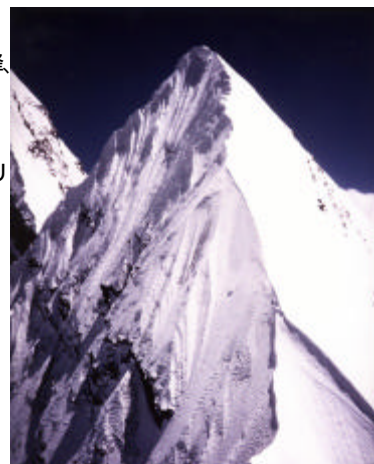
(1998年)ネパール

マカレー 峰 埼玉県岳連隊

(1999年)タジキスタン

ナンガバルバットベース

(2006年)計画中



パキティ 峰 (6856m) の北峰です。当時初登でその後、当会の登山パーティー名である「パックス」峰と命名されました。



### CLUB DATA

クラブ名：たらっぺ山の会  
 設立：1975年  
 所属人数 名(男28名 女1名)  
 平均年齢：32歳  
 連絡先：埼玉県  
 坂田文男  
 ホームエリア：谷川岳 北アルプス  
 記録：

